

# 20代・30代でスタートを切った経営者たちの 起業家スピリッツを 盗め!

起業する・しないにかかわらず、「自立性」が問われる時代。20代・30代で起業した経営者たちの姿からホンモノのベンチャースピリッツを学んでみよう。

CASE  
22

## CADとインターネットを 結合し、アパレル業界に IT革命を起こす

PROFILE

大阪府出身。パタンナーを経て、96年から在宅でCADを使っている業務請負を開始。同年8月、前身のジェイコントラクション設立。

創業時

28歳

現場を離れて痛感した、仕事の喜び。新商品開発にかける熱意が道を切り開いた

株式会社ジェイシーシステム「大阪市」代表取締役 木田順子(32歳)



資金稼ぎに始めた派遣の仕事が自分の生きる道となる

服飾専門学校を卒業後、アパレルメーカーに入社。パタンナーとして、CAD操作に習熟した木田氏。が、わずか2年で退職。その理由は「海外留学がたくて」。そのためには、派遣のほうが確実に早く資金が貯められるだろうと思っただけという。取り立てて珍しくもないフツツの理由である。だが、そこから先がちよっと違っ。

「働き始めたところ、これは派遣会社を介さず個人で受けたほうが得だと(笑)」  
そこでさっそく、営業活動を開始。ある

あらゆる分野でIT化が急速に進んでいるが、アパレル業界も例外ではない。だが洋服の型紙は身体の線など数値化しにくい部分が多いため、それをCADソフトにするには相当な技術力と資金、時間がかかるという。そんなハイリスクを乗り越え、今まででない高性能・低価格のCADソフト「バタバタモードくん」を開発したのが株式会社ジェイシーシステムの木田順子社長だ。

メーカーからの「一定のまとまった人数がほしい」との依頼も、難なくクリアし、CADの請負業務を引き受けることに。「結局40名のスタッフを24時間3交代で投入。5台の端末をフルに稼働させ、私自身はスタッフを管理したり、新しい顧客を確保する側に回ったのです」  
目の回るような忙しさに、眠る間もない毎日。もちろん金銭面では、豊かになった。ところが、「何だか心が晴れず」海外留学にも興味を失った木田氏。現場を離れて経営に翻弄されるだけの毎日、どうも自分の望むところではないとようやく気づいたのだ。

多くの協力を得て事態を好転  
斬新なアイデアをカタチに

「中学生の頃にアパレルの道に進む決心をしたんですが、振り返ってみるとそれ以前から独立心は人一倍強い子供でした」そんな木田氏が経験を活かし、もっとイキイキと取り組める仕事を考えたとき、パタンナーが使うCADソフトをつくる



インターネットを介し、各端末にCADソフトをダウンロード。その供給源である本社には特大サーバーと優秀なスタッフが控えている。



真新しい会社プレートと共に記念撮影。「あまりの忙しさに眠る間もなかったほど」という

会社DATA

設立●1996年  
資本金●2000万円  
売上高●3000万円(99年7月期)  
事業内容●CADソフトの開発とインターネットを使った情報ネットワークの運用  
所在地●〒530-0044 大阪市北区東天満1-11-19 デュプロ本社ビル6F  
電話●06-6242-4855代  
http://www.jcs-web.com/

ところが、ソフト開発会社選びを誤り、計画は一時中断。そうこうするうち、経営までもが悪化。そんなとき、情報処理振興事業協会のベンチャー企業支援制度を知る。事業化に至っていないアイデアを公募し、支援対象事業として認められれば開発資金を与えるというものだ。試しに応募したところ、斬新さが認められすんなり認可。同じ頃、技術面での強力なサポーターとも出会うことができる。同ソフトに対する木田氏の強い意志が吸引力となって、一気に開発が進んだ。「3年後には1万人の利用者を見込んでいます。そして、さらにネットワークを拡充させていきたいと思っています」